

ACOLS ニュース No. 154

生命科学機器分析部 機器設置場所変更および電源工事のお知らせ

平素よりお世話になっております。

このたび、生命科学機器分析部において、質量顕微鏡 iMScope および質量分析装置 LCMS-8050（いずれも島津製作所製）が導入されることとなりました。これに伴いまして、既存の機器の移動および電源工事を実施致しますので、作業日に一部の機器の供用を一時的に停止させていただきます。

作業日等は下記の通りです：

作業日： 平成 26 年 1 月 23 日（木）8:30～
 作業場所： 霞総合研究棟 110 号室・112 号室・213 号室
 電源工事： 213 号室（午前）・112 号室（午後）
 対象機器： 下表参照

対象機器名	現設置室	新設置室	供用停止時間
超微量分光光度計 NanoDrop	110	110	午前中
化学発光検出用イメージング装置 VersaDoc 5000			終日
蛍光イメージング装置 MOLECULAR IMAGER FX			終日
ゲル撮影装置 AE-6931 GXCL プリントグラフ			終日
タンパク質核酸自動分離装置 QIAcube	110	112	終日
タンパク質核酸自動分離装置 破砕装置 TissueLyser II	110	110	終日
液体クロマトグラフ AKTAexplorer 10S	112	112	終日
オートクレーブ LSX-500			終日
卓上遠心機 Avanti30			終日
DNA 自動分離装置 PI-50（2 台とも）	112	110	終日
遺伝子導入装置 GENE PULSER II			午前中
ハイパフォーマンス遠心分離機 Avanti HP-20	112	213	終日
213 号室設置の全装置（超遠心機・インキュベーター等）	設置場所はそのまま		午前中

電源工事を実施する部屋では、作業中に電気が切れることがありますので、機器の移動がない 213 号室においても午前中の電源工事終了までは装置を起動しないようお願い致します。

また、上記の対象機器以外の装置は作業日にもご利用いただけますが、作業中は施設内が雑然とすること、また霞総合研究棟 1, 2 階において騒音や振動などが発生することが予想されますので、あらかじめご留意ください。

供用停止時間の延長が生じる場合には、改めてご連絡致します。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

なお、新規質量分析装置の導入時期は平成 26 年 1 月最終週の予定、設置場所は 2 台とも霞総合研究棟 112 号室です。

ご不明な点などがございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

<連絡先>

自然科学研究支援開発センター 生命科学機器分析部

霞総合研究棟 107 号室（担当：原田・勝谷） 内線：(霞) 6869・6170

E-mail： acols@hiroshima-u.ac.jp

HP： <http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

追記：当施設を少しでもご利用いただき作成された論文には、「謝辞」に当施設利用の旨を記載していただきたく存じます（謝辞例文：This work was carried out at the Analysis Center of Life Science, Natural Science Center for Basic Research and Development, Hiroshima University.）。さらに、実績として役立たせていただくため、別刷 1 部（コピーや pdf ファイルでも結構です）を当施設にご提供いただければ幸いです。